

筑波社会科学研究

第 7 号

【研究論文】

中学校におけるマルクス経済学に基づいた経済教育の問題

—安井俊夫氏の「利潤が生まれるわけ」の授業を例として—……………山根 栄次(1)

地域学習における時間と空間の融合学習の構想……………石川 裕之(13)

「現代社会」の活性化を求めて

—時事問題の教材化から—……………土肥 勇賢(30)

家事科・裁縫科の諸問題に見る女子教育

—明治から昭和初期にかけて—……………永野みどり(42)

【研究会報告】

社会科の当面する諸問題……………宮園 衛・山本栄一・古山良平(53)

筑波大学社会科教育学会, アンケート集計結果……………谷田部玲生(62)

パラオの非核憲法について……………鈴木 俊彦(65)

【書 評】

藤沢法暎『ドイツ人の歴史意識』……………宮園 衛(68)

【図書紹介】

上原弘江編『上原専祿著作集25・世界史認識の新課題』……………二谷 貞夫(70)

【学会要報】

昭和62年度学会活動報告……………(73)

教育研究科昭和61年度修了生 修士論文一覧……………(74)

筑波大学社会科教育学会

1988

筑波大学社会科教育学会会則

- 第 1 条(名 称) 本会は筑波大学社会科教育学会と称する。
- 第 2 条(目 的) 本会は社会科教育に関する研究を行い、あわせて会員相互の連絡をはかることを目的とする。
- 第 3 条(活 動) 本会は前条の目的を達成するために、次の活動を行う。
1. 研究会の開催
 2. 機関誌の発行
 3. 資料の収集・交換
 4. その他必要と認められるもの
- 第 4 条(会 員) 本会の会員は、筑波大学の出身者および本会の趣旨に賛同する者で、所定の会費を納入した者とする。
2. 本会に賛助会員をおくことができる。賛助会員は、会の趣旨に賛同し、賛助会費を納める者とする。
- 第 5 条(本 部) 本会の本部は、筑波大学教育学系社会科教育学研究室におく。
- 第 6 条(役 員) 本会は次の役員をおく。
- 会 長 1 名 副会長 1 名 評議員 若干名
幹 事 若干名 会計監査 2 名
2. 評議員および会計監査は総会において選出する。
 3. 会長および副会長は評議員会で選出する。
 4. 幹事は総会の承認を得て、会長が委嘱する。
 5. 役員の任期は2年とする。ただし再選を妨げない。
- 第 7 条(役員の任務) 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
 3. 評議員は評議員会を構成し、重要な会務を運営する。
 4. 幹事は幹事会を構成し、会長をたすけて会務を運営する。
 5. 会計監査は、本会の会計を監査する。
- 第 8 条(顧 問) 本会には顧問をおくことができる。顧問は総会の承認を得て会長が委嘱する。
- 第 9 条(会 議) 本会の会議は、総会、評議員会および幹事会とする。
2. 総会は毎年1回会長が招集し、会員の過半数の出席によって成立する。ただし、会員は委任状をもって議決権を他の会員に委任することができる。
 3. 必要ある場合、会長は臨時総会を招集することができる。
 4. 総会の議決決定は、出席会員の過半数をもって行う。
 5. 評議員会は、会長、副会長、評議員をもって構成し、会長の招集によって重要な会務を審議する。
 6. 幹事会は会長が招集する。
- 第 10 条(会 計) 本会の経費は、会費、寄付金、その他をもってこれに充てる。
2. 本会の会費は総会で定める。
 3. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。
- 第 11 条(会則の改正) 会則の改正は、総会の議を経なければならない。
- 付 則 この会則は昭和57年2月11日から施行する。

昭和62年度役員

会 長 横山十四男（筑波大学教育学系）

副会長 吉田 寅（筑波大学歴史・人類学系）

評議員 飯島睦子（東京・今川中），大森 正（東洋大学），梶 哲夫（筑波大学），
金子 巧（広島・舟入高），後藤忠司（兵庫・須磨反ヶ丘高），小森正明（宮
内庁），斉藤宏夫（栃木・小山高），高山次嘉（新潟大学），竹下裕隆（愛知・
豊田高），谷川彰英（筑波大学），中村八朗（筑波大学），二谷貞夫（上越教
育大学），平岡可奈之（神奈川・桐蔭学園），古山良平（東京学芸大付属高），
別府淳夫（筑波大学），三浦軍三（東京学芸大学）

会計監査 岩崎宏之（筑波大学），三野輪敦（茗溪学園高）

幹 事 梶 哲夫，西沢利栄，別府淳夫，谷川彰英，上笹 恒，菱山謙二，大森 正，
二谷貞夫，渋沢文隆，古山良平，谷田部玲生，永野広務，小森正明，松本 敏，
宮園 衛，藤井千春，松岡尚敏，松本 康，木村勝彦，木村健一郎，溜池善裕

「筑波社会科研究」編集委員 梶 哲夫，渋沢文隆，森茂岳雄，松本 敏，
宮園 衛，藤井千春，松岡尚敏，木村勝彦，
松本 康，木村健一郎，溜池善裕

< 編 集 規 定 >

- (1) 本誌は筑波大学社会科教育学会の機関誌であり、年一回発行する。
- (2) 本誌は本学会会員の研究論文、研究ノート、書評、研究会報告、学会彙報、その他会員の研究活動に関する記事を掲載する。
- (3) 本誌に論文その他を掲載しようとする会員は、所定の執筆要領に従い「編集委員会」宛に送付する。
- (4) 原稿の掲載は編集委員会の審議を経て決定する。
- (5) 掲載予定の原稿について、編集委員会は執筆者との協議を通じ、内容に変更を求めることがある。
- (6) 本誌に掲載された論文その他は原則として返還しない。
- (7) 執筆者による校正は第一校までとし、再校以後は原則として編集委員会の責任において行う。

< 執 筆 要 領 >

- (1) 論文原稿は未発表のものに限る。(ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない)
- (2) 編集委員会が特に枚数を指定する以外の原稿は、図・表などを含めて、原則として研究論文が30枚以内、研究ノートが15枚以内、書評が5枚以内とする。
- (3) 原稿は、400字詰横書きとする。
- (4) 原稿には、必ず英文タイトルを添付する。
- (5) 原稿には、氏名(フリガナ)、所属(職名その他を含む)、連絡先を付記し、筑波大学社会科教育学会「筑波社会科研究」編集委員会宛に送付するものとする。
- (6) 図版等で特定の費用を要する場合、執筆者に負担させることがある。
- (7) 原稿〆切は毎年9月30日、発行は翌年2月11日とする。

筑波社会科研究 第7号

昭和63年2月11日 印刷・発行

編 集 「筑波社会科研究」編集委員会

代表者 梶 哲 夫

発 行 筑波大学社会科教育学会

会 長 横 山 十四男

事務局 茨城県つくば市天王台1-1-1(〒305)

筑波大学教育学系 社会科教育学研究室

TEL0298-53-6822, 6729~31

印 刷 甲 文 堂

東京都文京区大塚1-4-7(〒112)

TEL03-947-0844

**TSUKUBA ANNALS
FOR
THE SOCIAL STUDIES EDUCATION**

No.7

1988

CONTENTS

Articles

- Some Problems of Secondary School's Economic
Education based on Marxian Economics Eiji YAMANE. (1)
- A Plan of Fusion of Time and Space Aspects
in Regional Learning Hiroyuki ISHIKAWA. (13)
- In pursuing Vitality of "GENDAI SYAKAI" Yuuken Doi (30)
- On Education for Girls in the Issues of
"Home Making" in Pre-War-Period Midori NAGANO (42)
-

Reports of Study Meeting

- Some Problems in Social Studies of today Mamoru MIYAZONO
Eiichi YAMAMOTO, Ryohei FURUYAMA. (53)
- The Results of Questionnaires Reio YATABE (62)
- On A Nonnuclear Constitution in Palau Toshihiko SUZUKI (65)
-

Book Reviews

- Hōei FUJISAWA: A Historical Consciousness of
the German People Mamoru MIYAZONO (68)
- Hiroe UEHARA (ed): The Writings of Senroku Uehara 25—
A New Theme of "World Historical" Recognition Sadao NITANI (70)
-

Academic News

- Academic Activities of the Association for the Social Studies Education
in 1987 (73)
- Titles of Master Theses Submitted by Graduate Students of the
Social Studies Course, Master's Program of Education in 1987 (74)

**THE ASSOCIATION FOR THE SOCIAL STUDIES EDUCATION
THE UNIVERSITY OF TSUKUBA**